

こうあるべき

あなたが「こうあるべきだ！」と思っていることは、実はそんなに大切ではないことが多々あります。そもそも、と大きな視点で宇宙的な視点で離れて見ると、どうでもいいことも多いようです。不幸なことは、との「こうあるべき」にとらわれてしまふこと、そして人を巻き込んでしまうことです。(ほとんどの人が、自分の中に「こうあるべき」というものをいくつも持っているのです。あなたの「こうあるべき」は何でしょう？紙に書き出していくと、何となくすっきりしますよ！)

- ・夜ねる前に食べない
- ・うじは大切、きちんとあべき
- ・お金を使わず節約あべき
- ・人の言葉には断らない
- ・服装、身なりはきちんとあべき

理論的に正しいと思っていることを、豆娘の中で「こうあるべき」としてしまうことも多いようです。

こうあるべきを手放せば
心が軽くなる
人生は楽しくなる

おじとうさんたり

Vol. 163

2018.10月

ありがとう ありがとう

作者: 鳥越介順



ソニックジャパン
金沢支店 支店長
(社)生命保険
ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)
石川県協会 相談役
鳥越介順(とりこえかいじゅん)

自分をゆるすとき

自分に厳しく、ストイックに生きている人は、厳しさには強くなれるが、その厳しさから自分を解き放つことがなかなか出来なくなるものです。急には出来ないのでリハビリが必要になります。少しすこし自分をゆるめても良いことを自分に言い聞かせ

ゆっくり ゆっくりと

ゆるすといいでしょ。



ひよっとして 今日の日を買いたい？

今年の7月号の水色の天使の物語で、主に公の孤独な老いた男が水色の天使に1回に100万円を払って家族と過ごしたある日の夢を見れるというお話をありました。

妻はその話が気に入ったのか、

最近、息子夫婦が遊びに来てくれる日や、都会にいる娘が帰ってくる日に

夫婦で楽しく食事の準備をしている日等に

妻「お父さん 今日の日…ひよとしたら、天使にお金を払ったん？」

私も娘子に乗せて

「どうねん 30年後に払はとるわー」

「高いどー 100万円やから、大切にせんなんわー」

ワハハハ ハハ

という会話をよくします。